

教員名	服部 昌彦	所属学科	経済学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>産業組織論の基礎を学び、企業行動や経済政策を考察する力を養います。また、グループワークを通じて、チームで成果を出す力を養います。各自が関心を持てる研究テーマを探すことを第一に考え、調査、プレゼンテーション、ディスカッション等を通じて一つのテーマに独自の考察を与えた卒業論文の執筆を目指します。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>私が専門にしている産業組織論は多様なテーマを含みます。企業の価格戦略、研究開発投資、広告投資、製品開発、合併の分析や、産業構造と企業のパフォーマンスの関係など、様々なトピックを扱うことが出来ます。</p> <p>2年次は各自が興味を持てるテーマを探します。選ばれたテーマを踏まえて、教員が既存の考え方や知識を紹介し、考察の幅を広げるためのフォローを行います。また、プレゼンやディスカッションなどを通じてアカデミックスキルの体得を目指します。</p> <p>3年次は教科書の輪読、ディベート、合同ゼミなどを予定しています。各自の研究テーマをサポートする形で分析手法や知識の取得を行います。産業組織論、計量経済学、ミクロ経済学、ゲーム理論を想定しています。基本的には教科書を選定し、グループ単位で輪読を行う予定です。また、視野を広げるために、合同ゼミや外部講師の講演も企画したいです。ゼミ活動を通じて、自ら考え、調べ、論ずる力を身に付けて欲しいです。</p> <p>4年次は卒業論文の執筆を目指します。2、3年次で獲得した自分なりの研究テーマと専門知識を生かし、ゼミ生と協力しながらユニークな考察と結論の獲得を目指します。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>まずは研究の面白さを知って欲しいです。知りたいと思う知的好奇心が社会を大きく変えてきました。経済学では、豊かさを表すGDPの発見や、分業、市場、国際貿易がもたらす利益の発見は社会に大きく貢献したと思います。</p> <p>社会的なテーマに関心を持ち、調べ、考察することは新しい仕事を見つけ出す力を養うことが出来ると思います。また、データを用いて分析するスキルは、データ収集やデータへのアクセスが容易になっている現代社会において、重宝されるスキルだと考えられます。演習は基本的にグループ単位で行うため、グループ活動を通じて成果を出す経験は、多様な人々と協力して事業を進める社会人生活に役立つと思います。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>ジョン マクミラン『市場を創る』NTT出版；経済理論と現実経済 マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう』早川書房；価値観を考える 羽田 正『東インド会社とアジアの海（興亡の世界史）』講談社；歴史のダイナミクス</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>大学は個人の裁量で活動出来る幅が広いと思います。自分に合う大学生活を見つけ出し、これからの人生に有意義な4年間になるよう願っています。視野を広く、肩の力を抜いて楽しんで下さい！</p>			